

# ふれない小動物観察プログラムとオンライン授業との連携による子どもの学びの 評価(共同研究その2)

Combination of small animal observation zoo visiting program and online class and its evaluation (Joint Research Report No. 2)

○齋藤愛子<sup>1</sup>, 松山薫<sup>1</sup>, 木村真由子<sup>1</sup>, 金子結花<sup>1</sup>, 津村悠介<sup>1</sup>, 山田透生<sup>1</sup>, 佐藤安祐佳<sup>1</sup>,  
中村奈央<sup>1</sup>, 山口進也<sup>2</sup>, 松本朱実<sup>3</sup>, 佐藤真之<sup>4</sup>

Aiko Saito, Kaori Matsuyama, Kimura Mayuko, Yuka Kaneko, Tsumura Yusuke,  
Yamada Toi, Sato Ayuka, Nakamura Nao, Yamaguchi Shinya, Matsumoto Akemi,  
Sato Manayuki

<sup>1</sup>野毛山動物園 <sup>2</sup>よこはま動物園 <sup>3</sup>社会構想大学院大学 <sup>4</sup>横浜市立権太坂小学校

---

## 要約

野毛山動物園で小学校1年生を対象に、担当教師と協働してなかよし広場で飼育するモルモットと、学校飼育するモルモットを介した継続的な連携授業を実施した。この授業内容の分析評価を、プログラムデザインを共同研究する研究者と協働して実施した。教師、職員、研究者の協働による連携授業の方法、内容、評価方法について示した。また、共同研究の知見を基に、職員による子ども一人一人の学びを評価する枠組みを構築した。協働による連携授業を実施した結果、児童の継続的な学習活動を支援し、「生命概念」「科学的思考」「動物とのつながり」「動物との関わり」「持続可能性」に関わる学びの効果が高まることが示された。